

KIHA 北名古屋市国際交流協会 会報

発行者 北名古屋市国際交流協会
〒481-8531 北名古屋市役所（西庁舎4階）
TEL 0568-22-1111(内線)2400

vol. **19**
2014. 7.

北名古屋の国際交流・・・ばづくり、ひとづくり、ちいきづくり。

外国人という こころのバリアを越える 国際交流子ども芸術教室での取り組み

この教室は、平成22年度から毎年夏休みに開講する国際交流プログラムです。協会の理事を務めた名古屋芸術大学和田義行教授の指導のもとにスタートし、最近では、募集定員をオーバーする人気教室になっています。

会場は、名古屋芸術大学西キャンパスです。子どもたちはキャンパス周辺に北名古屋市が進める「彫刻のあるまち」づくりで設置されている野外彫刻を題材にして、芸大に通う外国人留学生に直接指導を受けながら一枚の絵を描きあげます。子どもたちが絵の具やクレヨンで描いた絵を、留学生たちはパステルを粉にして振りかけてスプレーで定着させるなど枠に捉われない自由な表現で指導します。子どもたちにとって、そんな絵の描き方は初めての体験です。子どもたちの目が輝いてきます。

このプログラムの狙いは、2つです。

まず、一つ目は、北名古屋で暮らす外国人留学生に子どもたちが直接指導を受けるといふ異文化交流体験です。子どもたちに、外国人という心のバリアを越える初めての体験の機会を作ることです。

2つ目は、「彫刻のあるまち」づくりの野外彫刻を題材にすることです。それによって子どもたちが地域の価値に気づききっかけを作ることです。グローバル時代を担う子どもたちには、早い時

期から外国人に接し日本人との違いを知り、外国の文化を理解する機会が必要です。が、それ以上に、北名古屋の歴史、文化、価値の大切さを理解できる人でなければなりません。「地球規模で考え、ローカルに行動する（Think globally, act locally）」という国際感覚豊かな人とは、世界の日本のをよく知る日本人であるからです。協会は国際感覚豊かな人づくりとして、子どもたちと芸大留学生との顔の見える交流を引き続き推進してまいります。

国際交流子ども芸術教室 芸大留学生と一緒に モニュメントを描く

名古屋芸術大学の留学生のお兄さんお姉さんと一緒に、「まちの彫刻」を描いてみませんか？
野外美術館の楽しみ方や留学生との交流を通じて、子どもたちの国際感覚を育てましょう。

日時 平成26年7月21日(月)10時から15時まで
(途中、昼食の時間を設けます)

会場 名古屋芸術大学西キャンパス
デザイン棟 102号教室

対象 小学生（低学年は保護者の参加をお願いします）

定員 30名 定員になり次第締め切ります。

参加料 無料

持ち物 昼食（弁当）、絵の具、クレヨン等絵画を野外で描けるように用意してください。（画板は協会が用意します）

平成26年度事業

4月12日、市文化勤労会館において通常総会が開催され、「国際交流の場づくり、国際交流の人づくり、国際交流を活用した地域づくり」など市民が主役になる草の根交流を推進して北名古屋市の国際交流拠点にふさわしい協会づくりをめざす平成26年度事業計画、予算案等を決定しました。

1 重点事業

- ・ 近くて遠いアジア近隣諸国を身近にする国際交流の場づくりを推進します。
- ・ 国際交流の成果を地域おこしに繋げていく「北名古屋地域ブランドプロジェクト」をイメージ・キャラクターを活用して推進します。

2 事業計画

- 国際交流の場づくり
 - ・ 第3回アジアフェスティバル
 - ・ アジア近隣諸国との国際交流の場として実施します。食と文化の交流を通じて、近くて遠いアジアの相互理解を深める市民のアイデア溢れる手づくりの国際交流イベントです。
 - ・ 国際フェア
 - ・ 国際交流の場として、「ふれあいフェスタ2014」などのイベントに出展します。北名古屋地域ブランド産品を特別販売するなど啓発キャンペーンを実施します。
 - ・ 国際交流子ども芸術教室
 - ・ 芸大留学生と子どもたちの交流の場として、芸術教室を開講し国際理解を深めるとともに、子どもたちの国際感覚を育てます。
- 国際交流の担い手である人づくり
 - ・ 中学生国際交流プログラム
 - ・ 北名古屋市と友好提携都市韓国務安郡との国際交流事業として、中学生を相互に派遣し、交流を深め、国際理解教育を推進し、21世紀を担う国際感覚豊かな人材育成に努めます。
 - ・ 草の根交流プログラム
 - ・ 海外自治体や国際交流団体等から訪問団を受け入れ交流を深め、市民が主役になる草の根交流を推進します。
 - ・ 社会人日本語教室
 - ・ 基礎的な日本語の習得と資格取得をめざす外国人のための教室です。毎週、金曜日の夜、健康ドームで、日本語ボランティアが指導します。



- ・ 子ども日本語教室
 - ・ 外国人の児童生徒を対象に、日常生活に必要な日本語を習得させるため、在籍の小中学校での出張教室方式で毎週一回開講します。日本語ボランティアが指導します。
- ・ 外国語講座
 - ・ 一般市民を対象に、気軽にはじめられる韓国語、中国語、英語の5コースを健康ドームで開講します。
- ・ ボランティア研修プログラム
 - ・ 登録ボランティアのスキルアップとネットワーク構築のため、研修会や交流会を実施します。
- ・ 外国語学習事業補助
 - ・ 市内で語学学習を行うグループに対して、その講師料の一部を予算の範囲内で補助します。

- ・ 通訳・翻訳ボランティア派遣事業
 - ・ 学校、団体や企業などの要望により通訳ボランティアを派遣するとともに、翻訳サポート等を実施します。会員には助成制度があります。
- 国際交流を活用した地域づくり
 - ・ 北名古屋地域ブランドプロジェクト
 - ・ 市民手づくりで取り組む国際交流をツールとした北名古屋地域ブランド産品を開発普及していくプロジェクトです。「北名古屋特産！いちじく酵母入り 北名古屋ブランド産品」の普及啓発を、イメージ・キャラクターを活用して実施します。

多文化共生社会づくりプログラム

外国人を対象とした公共施設スタディーツアーを実施するなど、市民との暮らしを通じた交流を推進します。

国際理解プログラム

一般市民を対象に、国際理解を深めるため《アジアを識るシリーズ》《国際交流を活用した地域づくりシリーズ》などの講演会やビデオ映画鑑賞会等を実施します。

国際交流事業補助

市内の団体が実施する国際交流事業について、その経費の一部を予算の範囲内で補助します。

外国人生活相談

地域で暮らす外国人が抱えている問題をともに考える相談窓口を開設します。

会報の発行

7月、11月及び4月に市の広報に折り込み全戸配布します。

ホームページの作成

協会の活動や催事の紹介、各種講座の案内、会員募集など、ホームページを更新し充実させます。外国語版は、協会登録ボランティアが作成しております。

平成26年度収支予算書 (単位：円)

収入の部	
負担金 (会費等)	580,000
補助金・助成金	12,650,000
諸収入	1,821,000
繰越金	284,000
計	15,335,000
支出の部	
事務費 (報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等)	7,160,000
事業費 (報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金・補助金等)	8,135,000
予備費	40,000
計	15,335,000

詳しくは協会までお問い合わせください

平成25年度事業報告

○国際交流の場づくり

・国際フェア

国際交流の場として、「ふれあいフェスタ2013」などイベントに出展しました。国際交流コーナーを設置し、国際理解を深めました。

・第2回アジアフェスティバル

アジア近隣諸国との交流の場として、市民手づくりにより「アジアを観て、識り、食す」をテーマに相互理解を深めるイベントを開催しました。

・国際交流子ども芸術教室

芸大の留学生と子どもたちとの交流の場として、芸術教室を開講し国際理解を深め、子どもたちの国際感覚を育てました。

○国際交流の担い手となる人づくり

・中学生国際交流プログラム

北名古屋市と友好提携都市韓国務安郡との国際交流事業として、中学生を相互に派遣し、絆を強め、交流を深めました。国際理解教育の一環として取り組み国際感覚豊かな人材の育成に貢献しました。

・草の根交流プログラム

韓国務安郡女性指導者訪問団等を市とともに受け入れ、交流を深め、市民が主役の草の根の国際交流を推進しました。

平成25年度決算報告 (単位:円)

収入の部	
負担金(会費等)	547,000
補助金・助成金	12,676,000
諸収入	2,015,971
繰越金	826,464
計	16,065,435
支出の部	
事務費 (報償費・職員手当等・共済費・賃金・旅費・交際費・需用費・備品購入費等)	7,291,982
事業費 (報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・負担金・補助金等)	8,488,536
予備費	0
計	15,780,518

詳しくは協会までお問い合わせください

・社会人日本語教室

外国人を対象に日本社会での適応能力を向上させ、日本語の基礎能力をつけるために開講しました。

・子ども日本語教室

外国人の児童生徒を対象に日常生活に必要な日本語を習得させるため開講しました。

・外国語講座

一般市民を対象に、韓国語3コース、中国語1コース、英語1コースの三カ国語5コースを開講しました。

・ボランティア研修プログラム

登録ボランティアのスキルアップとネットワーク構築のため、県国際交流協会と共催して研修会や交流会を実施しました。

・ボランティア登録者数

通訳翻訳、イベント、日本語教室、生活相談、運営企画会議など登録者総数163名。

○国際交流を活用した地域づくり

・北名古屋地域ブランドプロジェクト

北名古屋地域ブランド第一号として、「北名古屋特産!いちじく酵母入り イタリアンドレッシング」を開発提案し、イメージキャラクターを活用して啓発キャンペーンを実施しました。

・多文化共生社会づくりプログラム

外国人を対象とした公共施設スタディツアー「北名古屋を観よう、知ろう、話そう。」をテーマに消防講習を実施しました。

・国際理解プログラム

一般市民を対象に、国際理解を深めるため《アジアを識るシリーズ》《国際交流を活用した地域づくりシリーズ》などの講演会やビデオ映画鑑賞会等を実施しました。

・外国人生活相談

地域で暮らす外国人が抱えている問題をともに考える相談窓口を開設しました。

・会報の発行

7月、11月及び4月に市の広報に折り込み全戸配布しました。

・ホームページの作成

協会の活動や催事の紹介、各種講座の案内、会員登録など、ホームページを更新しました。外国語版は、協会登録ボランティアが作成しました。

私たちの国際交流 ⑰

我が家の国際交流

山田 建一

初めて我が家に寝泊まりした異邦人はソウルから来た3人の女子大生であった。共通の話題はボーイ・スカウトに関する事だけ。彼女たちの情報は事前にほとんどなかった。それでも食事の時にはさすがに賑わった。あれやこれやと話が弾んだ。味噌汁は大丈夫だが、吸い物は皆苦手であった。濃い味でない、受け付けられない。見知らぬ人と打ち解けるには食事に限ると再確認。彼女たちはボーイ・スカウト愛知県野営大会に参加するためにやってきた。我が家から大会に見学に出かけていった。韓国からはローバー(大学年齢)クラスとの交流もプログラムにどの意向が寄せられていた。我が団と半田のローバースカウトを我が家と呼んで、彼女らと交流会を開催した。

残念ながら、彼女達の会話力不足で活発な話し合いはできなかった。それでも、日本のローバー活動の大筋はつかんでいったようである。滞在中、座敷ではお茶の作法や着物を着たり、雛人形など日本文化に触れさせた。年頃の娘さんを3人も預かることは、責任感が重かった。断りたかったが、3人が寝泊まりするスペースは十分あったので応じたに過ぎない。だが、これで終わらなかった。その後、何人の韓国の子どもたちが我が家でステイしたことだろう。3人の女学生の受け入れが序曲になるとは想像だにできなかった。

当時、「マインド」という海外と交流する団体がこの地にあった。会員でもない我が家が協力する羽目に。孫のような子ども達との生活は夫婦には随分な刺激となり、毎回楽しい思い出となった。名古屋のスポットを韓国の子ども達に逆に教えられたほどである。

韓国でも日本のコミックが放映されており、テレビ番組に関心を持っていた。特に「コナン?」という番組で日本語を覚えると言って、我が家でも熱心に観ていた。このコミックは購入しプレゼントした。様々な記憶が今も残っている。



外国人のための公共施設スタディーツアー
北名古屋を観よう、知ろう、話そう。

多文化共生社会づくりの取り組みとして、市内在住の外国人と公共施設を訪ね行政サービスの理解を深めるとともに交流を図ります。

日時 平成26年7月5日(土)
 10時から13時30分まで

集合・解散場所 北名古屋市役所西庁舎南玄関前
プログラム

10時～10時30分 沖村交番
 10時45分～11時30分 防犯交通安全の話

11時45分～13時15分 交流会(昼食を用意します)
対象 市内在住・在勤の外国籍住民及びその子女。就学前児童の参加は保護者同伴とします。なお、当日、外国人をサポートする市民ボランティアも募集しております。

定員 20名。定員になり次第締め切ります。
参加料 無料



世界を識るシリーズ！
揺れるウクライナ講演会
 ―ソ連離脱、原発事故が遠因。ウクライナの危機の行方―



ウクライナ東部で混乱が続くなか、大統領選で親欧米のポロシェンコ元外相が選出されました。ロシアによるクリミア編入後、ドネツクなど東部の行方に関心を集めています。旧ソ連の建国当初からの盟友だったウクライナが、ロシアと亀裂を生み独立している。

最大要因はチェルノブイリ原発事故です。共産主義の崩壊と《新冷戦》の今を考えます。中日新聞元論説委員 小塚哲司氏(カイロ、パリ支局長歴任)を迎えてジャーナリストティックな分析で揺れるウクライナ問題の本質に迫ります。

日時 平成26年8月30日(土)
 13時から15時まで

場所 北名古屋市文化勤労会館小ホール
定員 100名。定員になり次第締め切ります。
参加料 無料
 この講演会は、大和塾と共催で実施します。

韓国文化体験講座

「韓日の文化的接点を探る」

主催 駐名古屋韓国総領事館

未来志向の韓日交流につながる文化的催事です。韓日の文化的な接点を探りながら韓国の魅力を考える国際理解講座です。

日時 平成26年7月21日(祝・月)
 10時から16時まで

会場 北名古屋市文化勤労会館
プログラム

- ① 講演会 13時から15時まで
 ・テーマ 韓国の暮らしと食文化
- ・講師 愛知大学教授 片 茂永 先生
- ・定員 150名(定員になり次第締め切ります)
- ② 韓国料理講習会
 10時から13時まで

「北名古屋特産！いちじく酵母」など北名古屋の食材を取り上げます。
 ・定員 30名(定員になり次第締め切ります)

* プログラムは場合により変更することがあります。
 参加料 いずれも無料
《申し込み・問い合わせ》
 駐名古屋韓国総領事館

電話 052-586-9221
 北名古屋市国際交流協会でも受け付けております。

各種申し込み、お問い合わせ等は、左記までお願いします

〒481-8531 北名古屋市西之保清水田15番地
 北名古屋市役所西庁舎4階

北名古屋市国際交流協会

電話 0568(22)1111 内線2400
 ファックス 0568(25)1800
 Eメール info@kitanagoya-kiia.jp
 ホームページ http://www.kitanagoya-kiia.jp